

「 新年を迎えて 」

校長 野上 浩資

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。このところ、毎日寒い日が続いており、保護者や地域の皆様はいかがお過ごしでしょうか。この時期は、一般的な風邪とともに、毎年インフルエンザや感染性胃腸炎等が流行する時期でもあります。健康管理に努められていることと思います。

現在の学校の様子をお知らせしますと、インフルエンザ等に罹患した生徒が出始めており、また一般的な風邪により欠席している生徒もおります。学級閉鎖等の措置をとった学級もあり、今後の状況を大変心配しているところです。そのため、流行を防ぐために、毎日の手洗い・うがいの励行、マスクの活用、教室の換気など衛生管理の徹底を努めているところです。また、生徒が楽しみにしている給食においては、直接調理を担当する調理員には、日頃から衛生管理に注意していただいておりますが、ノロウィルスや0-157などの対策も含め、食品の加熱処理、食器・調理器具の殺菌、そして、食材の点検などさまざまな面から衛生管理のさらなる徹底をお願いしているところです。

そこで、保護者の皆様方にも、次の点にご協力いただければ幸いです。一つ目は、帰宅後の手洗い・うがいの励行です。二つ目は適切な湿度の管理です。三つ目は、適切な睡眠とリズムある生活を送らせてください。四つ目は外出時のマスクの着用です（人ごみの多いところ）。その他、ご家庭で冬の季節における健康管理をぜひ家族の中の話題としてみて下さい。

終わりに、校医さんとお話ししたところ、適切な食事（ビタミンB・C・Dが摂取できる野菜やみかんなど）、睡眠、適度な運動が大切と伺いました。冬場は何かと運動不足や食事に偏りが出がちです。保護者や地域の皆様も、これらのことを心がけていただき、毎日健康で元気に生活できる地域にできればと思います。

今年度も、残すところいよいよ3か月となりました。1年の締めくくりと共に、進学・進級への準備にしっかり取り組めるよう、生徒への支援に尽力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

【冬休み明け集会（オンライン）】

令和7年1月6日（月）に冬休み明けの全校集会がオンラインで行われました。内容はこれからの学校生活についてなどです。校長先生からは、新年に向けてのお話がありました。進級や進学を迎える生徒に、一人ひとりが「希望の登校。満足の下校」ができることを願っているという励ましのことばがありました。

昨年は、能登半島地震や羽田空港航空機炎上事故など、痛ましい出来事からの年明けでしたが、今年は穏やかな年明けでした。平和な日常に感謝し、新たな気持ちで今の生活を大切に、充実した中学校生活を送ってほしいと思います。

学校敷地内の水仙が咲き、春の訪れを感じます。



新年の俳句とF組手製の飾りの掲示。



【あいさつ運動】

1月6日（月）7日（火）8日（水）にPTAの皆様・市民の会の皆様による「あいさつ運動」が行われました。寒空の中でも、元気な挨拶をする生徒の様子が多く見られました。これからも日頃から元気なあいさつができることを期待しています。



【百人一首大会（図書委員）について】

1月21日（火）、23日（木）、24日（金）の昼休みに、図書室で「百人一首大会」が行われています。今年は図書委員が読手（どくしゅ）に挑戦し、1対1の対戦型やグループ型など様々な参加型を工夫して実施されています。初日は生徒や先生、たまごプロジェクトの学生を交えて、札取りの競い合いで大いに盛り上がっていました。

